

第 2 回岩見沢市特別職報酬等審議会 議事要旨

- 1 日 時 令和 4 年 1 月 12 日（水） 午後 2 時 50 分～午後 3 時 34 分
- 2 場 所 岩見沢市役所 4 階 委員会室
- 3 出席者 飯田委員、引頭委員、熊尾委員、東海林委員、千葉委員、村上委員 ※松浦委員欠席
- 4 事務局 井筒総務部長、保科職員課長、石川職員係長、矢野職員係主事
- 5 会議等の内容

項目	発言者	発言内容等
開会	会長	第 2 回特別職報酬等審議会を開催いたします。 はじめに事務局から報告を願う。
	事務局	7 名の委員のうち、6 名の委員が出席ということで本会議が成立していることを報告します。
会議	会長	次に第 1 回審議会の議事録について事務局から報告願う。
	事務局	第 1 回審議会で決定したとおり、要点記録方式、委員名は掲載しないということで、議事要旨をまとめたものを会長、職務代理人確認の上、ホームページ等で公開する。
	会長	議事録について意見はありますか。
	各委員	異議なし
	会長	教育長の給料の審議に当たって、学校教育に関する全道及び管内の児童生徒数等の資料の準備を事務局に追加で依頼した。
	委員	追加資料について、全道、管内の状況をまとめた資料の内容の説明。
	事務局	会議にあたり、審議に当たっての論点について説明
	各委員	異議なし
	会長	「市議会議員」、「市長・副市長」、「教育長」、「常勤監査委員」の順で減額、据置、増額の方向性を出した上で、増額、減額の場合は具体的な金額について意見をいただきたい。 まずは「市議会議員報酬」から進めていきたい。
	委員	他市との状況を人口規模から見ても差異はない。人口減等による定数の見直しがあった場合などに再度検討すればよいのでは。
	委員	道内都市の議員報酬一覧表を見ても他市と比較して劣っていない。据置の方向性でよい。
	委員	据置で考えているが、3 年から 5 年の期間で、議員報酬が大きく動いた市は他にあるのか
	事務局	大きく動いた市はありません。
	会長	それでは各委員の意見を整理すると、道内他市と比較して妥当な水準にある。平成 30 年以降の一般職も大幅な変動はないことから「据置」が妥当であるというまとめでよろしいか。
各委員	異議なし	
会長	では次に「市長・副市長」はどうか。	

委員	前回の審議会で本則ベースに改定した経緯もあり、コロナもあり、市民生活も大変ということ踏まえ、据置が妥当ではないか。
委員	副市長は上げてよいのではないか。金額は具体的に言えないが。
委員	前回の審議会以降、年数経過が浅いので据置が妥当だと思う。
委員	据置が妥当だと思う。財政的にも新庁舎建設などの大型事業もあるため。
委員	他市で本則から大きく減額している市もみられるが理由は。
事務局	財政状況上の理由が多いです。
会長	各委員の意見を総合的に判断すると据置が妥当というまとめになると思われるがいかがか。
各委員	異議なし
会長	では、続いて教育長と監査委員についてご意見を伺いたい。この2つの特別職については今回の審議会から審議対象となっているため、他市との水準などを考慮しながら適正性について審議していきたい。
委員	審議の前に当審議会でも2つの特別職の給料の審議が追加になった経緯を説明してもらいたい。
事務局	前回の審議会における経緯について説明
委員	岩見沢市の教育の状況でいうと一部地域で小中一貫教育を進めていること、中学校選択制の廃止、大きなじめの問題も起きていないとなると増額してもよいのでは。
会長	教育長の功績等について事務局から追加で説明は
事務局	学校教育分野において、子どもの学力向上に力を入れているところであり、全国学力テストの成績等は全道平均を上回っており、効果的な授業の実施により子どもの学力向上につながっているとされます。
委員	道内、管内の教育長給料をみると、空知管内の一部をはじめ、全道的に見ても岩見沢市は低いという印象。教育長の職務は大変な職務であり増額でよいのではないか。
委員	教育長の給料の審議が今回初めてであるということ、今までは一般職の給料をベースに設定されていたことを踏まえると、人口規模や学校数、児童生徒数を見た場合、同規模の他市と同様の水準での検討が必要であると感じることから、増額の方向性でよいのでは。
委員	岩見沢は今後、高等学校の適正配置にも取り組んでいく必要があるため、増額の検討の余地もあると思う。ただ、1年から2年程度様子を見るということも一つではないかとも思う。
会長	教育長給料は当審議会の検討が必要になることから様子見というのは難しい。 各委員の意見を総合すると、増額の方向性でよろしいか。
委員	現在の教育長の任期は。
事務局	今年11月までが任期です。
委員	そうすると、給料の増額があっても、現行の教育長への効果は限定的か。次の教育長の職務の遂行能力が低かった場合、給料の削減等は可能なのか。
事務局	教育長個人ということよりは、教育長の職務についての給料額が適正かどうかの判断となると思います。

会長	特別職の報酬については教育長に限らず、審議会での審議が必要になるため、増額、減額の判断は慎重に行う必要がある。
事務局	2年から3年程度での審議会の開催に向けて、事務局としても一定の頻度での実施に努めてまいりたい。
会長	それでは、教育長の報酬については、増額という方向で進めてまいりますが、金額について意見を伺いたい。
委員	道内の人口規模で行くと80,000人程度となっており、同様の規模の市を参考にした方がいいと思う。管内の町でも岩見沢市の教育長より多い金額のところもあるため、それらを踏まえると650,000円程度が妥当ではないでしょうか。
委員	空知管内で人口、学校数、児童生徒数が一番多い岩見沢市からすると650,000円とすると管内でトップとなるのでこの水準が妥当ではないか。
会長	それでは、各委員の意見を踏まえると、650,000円ということが多かったようですので、審議会としては現行より50,000円増額した650,000円で答申するというところでよろしいか。
各委員	異議なし
会長	それでは続きまして、常勤の監査委員について増額か減額か据置かの意見を伺いたい。
委員	常勤監査委員が置かれている11市の状況を見て、最下位であるということを知って驚いている。増額を検討する余地はあるのではないか。
委員	一般の会社の感覚で行くと、監査というのは退職した職員になることもあって、現行の給料額でも低くはないと思う。人口規模を踏まえて他市と比較すると低いとは思いますが。
委員	他市の状況みると人口規模の低いところでも、岩見沢市より多い給料額の市と同額程度となる金額まで増額してはどうか。そうすると590,000円になると思う。
委員	先ほどの教育長給料について増額した場合、常勤監査委員の現行の給料額と大きな開きが出ることになり、他市と比較しても差額が最大になると思います。特別職としての給料の水準ということを考えるとそういう点からも増額ということでもよいのではないか。
委員	人口規模に応じた金額を検討した方がいいと思います。
会長	意見を整理すると、教育長同様今回が初めての審議であり、適切な水準に設定する必要があるため、増額ということでよいか。
各委員	異議なし
会長	続いて金額になりますが、先ほど出ていた意見もあり、他市との比較から見ても委員から出ていた590,000円という案について、金額の妥当性はあると考えるがいかがか。
各委員	異議なし
会長	それでは、諮問事項について一定の方向性を見出すことができたので、本日の審議はこの程度にとどめ、次回は本日の方向性を踏まえた答申案を提示して議論することとしたいがいかがか。
各委員	異議なし
会長	委員の皆様から連絡事項があればお願いします。
各委員	特になし
会長	事務局から連絡事項等がありますか。

	事務局	次回の審議会の開催日程につきましては、1月28日（金）午前10時から開催をさせていただきたいと考えております。後日、事務局からご案内をさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。
閉会	会長	それでは、本日の次第はすべて終了いたしましたので、第2回岩見沢市特別職報酬等審議会を閉会いたします。 本日は長時間にわたり、大変ご苦勞様でした。